

経営比較分析表（令和2年度決算）

兵庫県 新温泉町

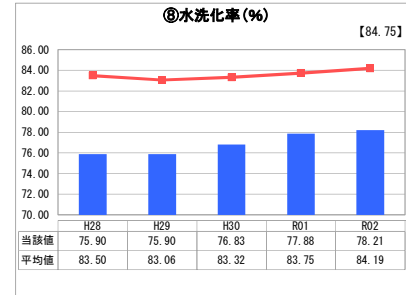
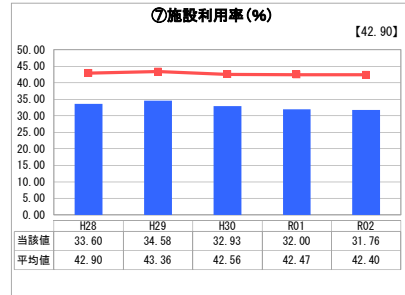
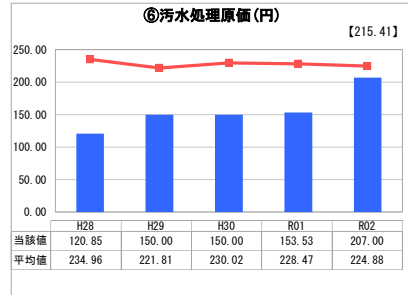
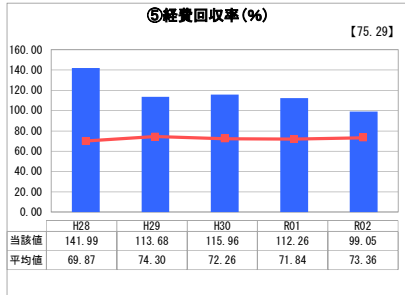
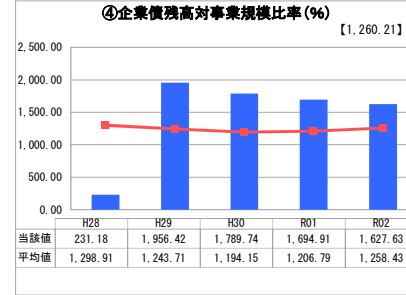
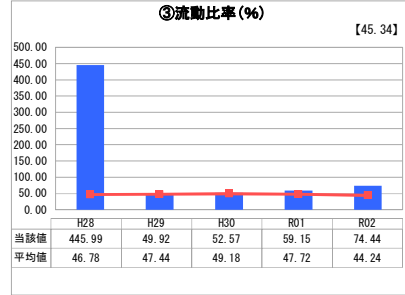
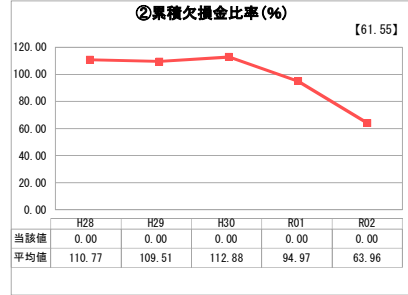
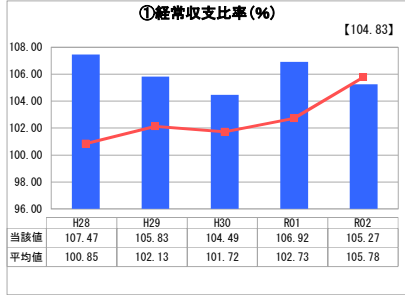
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	72.79	31.05	73.63	4,860

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
13,970	241.01	57.96
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4,296	1.40	3,068.57

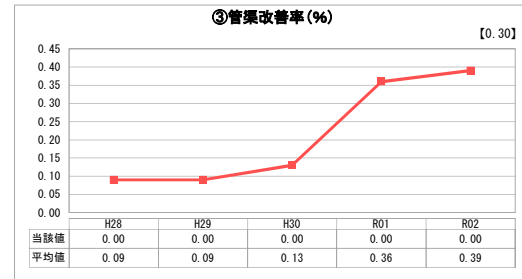
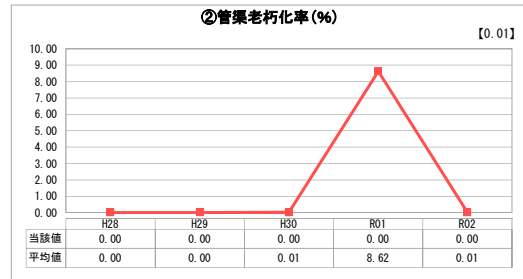
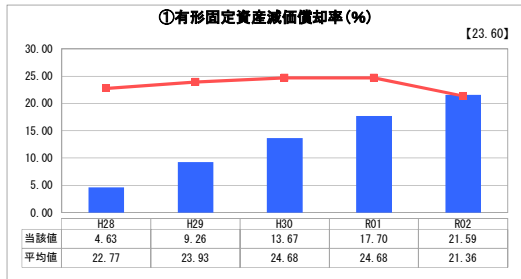
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- [] 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

H28年度から企業会計を適用し、初年度は移行による経費があるため比較出来ない項目があります。
 ①経常収支比率、③流動比率は類似団体平均値とほぼ同数値であります。
 ②累積欠損金は当町では発生しておりません。④企業債残高対事業規模比率は、28年度決算数値は比率計算方法の違いにより比較は出来ませんが、企業債償還のピークは過ぎ下降傾向にあります。⑤経費回収率は当該値が100%以下に変化しました、100%以上に向け対策が必要であります。
 ⑥汚水処理原価は汚水処理費が抑制されている状況にあります。⑦施設利用率、⑧水洗化率は類似団体平均値と比べ低い状況で、近年の水の使用量低下及び高齢化による使用者の減少等があり、接続促進方法の検討等の必要があります。
 経営の健全性・効率性を考えるうえで、引き続き経費の節減、接続率向上に向けた検討、施設の統廃合の検討等を進めていきます。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率が類似団体平均値より高い傾向へ変化しました。法定耐用年数に近づいている固定資産が増加傾向にあります。③管渠の更新・改良は、現在ありません。
 施設供用開始から22年を経過し、経年劣化による修繕等がでてきています。
 機械設備等については、R1～R2年度に公共下水道ストックマネジメント(長寿命化)計画を策定し、R3年度より整備を進める予定です。

全体総括

R1～R2年度に公共下水道ストックマネジメント(長寿命化)計画を策定し、R3年度より計画実施に沿った事業展開を実施することになります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。